



より優しくより強く新しい時代へ

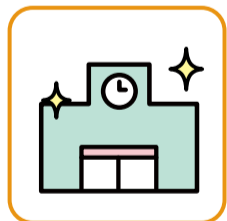
共に創ろう 盛岡未来予算

「より優しく」

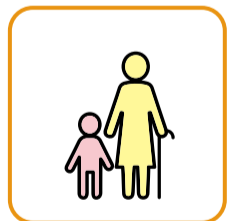
誰ひとり取り残さないまちへ



子どもにやさしく、
子育てしやすい
施策の充実



学校・教育環境の
整備を推進



全世代が
住みよい
環境整備の
促進

予算編成
2つの視点



「より強い」

地元経済が元気なまちへ



地元経済を強くし、
起業への魅力向上や
若者の
地元定着を推進



盛岡の
魅力発信による
交流人口の増加



市の持つ資源や
自然環境に配慮した
施策の充実

市ホームページ
<https://www.city.morioka.iwate.jp/>



市政ラジオ
「ウィークリー
もりおか」

ラジオもりおか (FM76.9MHz)
毎週金曜、7時50分～7時55分
再放送/10時30分～10時35分

[市公式SNS]

X (旧Twitter)
@moriokashi



Facebook
@moriokashi



LINE
@moriokacity



目次 1-3 盛岡市の予算

4 行政サービスのオンライン手続き

5 成年後見制度

6-7 イベント情報

8-9 もりおかインフォ、休日救急当番医

10-11 愛犬と楽しく暮らすために

12 遺跡の学び館20周年

令和6年度

市の予算が決定しました

市議会3月定例会で、本年度の予算が可決されましたので、その概要をお知らせします。
【問】財政課 ☎626-7515
【広報ID】1045078

令和6年度の当初予算編成に当たっては、最近のエネルギーや原材料価格の上昇などに伴う影響により、市民生活や地域経済活動の先行きが不透明な状況の中で、市民が安心して暮らせるよう、また、市民サービスの向上につながる事業の実現に向けた予算化に努めました。

特に、今日までの先輩世代への感謝を忘れず、そして一層の発展を遂げていくため、未来に向かって環境を整えることを意識して『より優しく より強い盛岡』の実現に向けた事業とともに、本市の社会経済活動の回復とさらなる成長に寄与する「戦略プロジェクト」を中心に予算を重点配分しました。



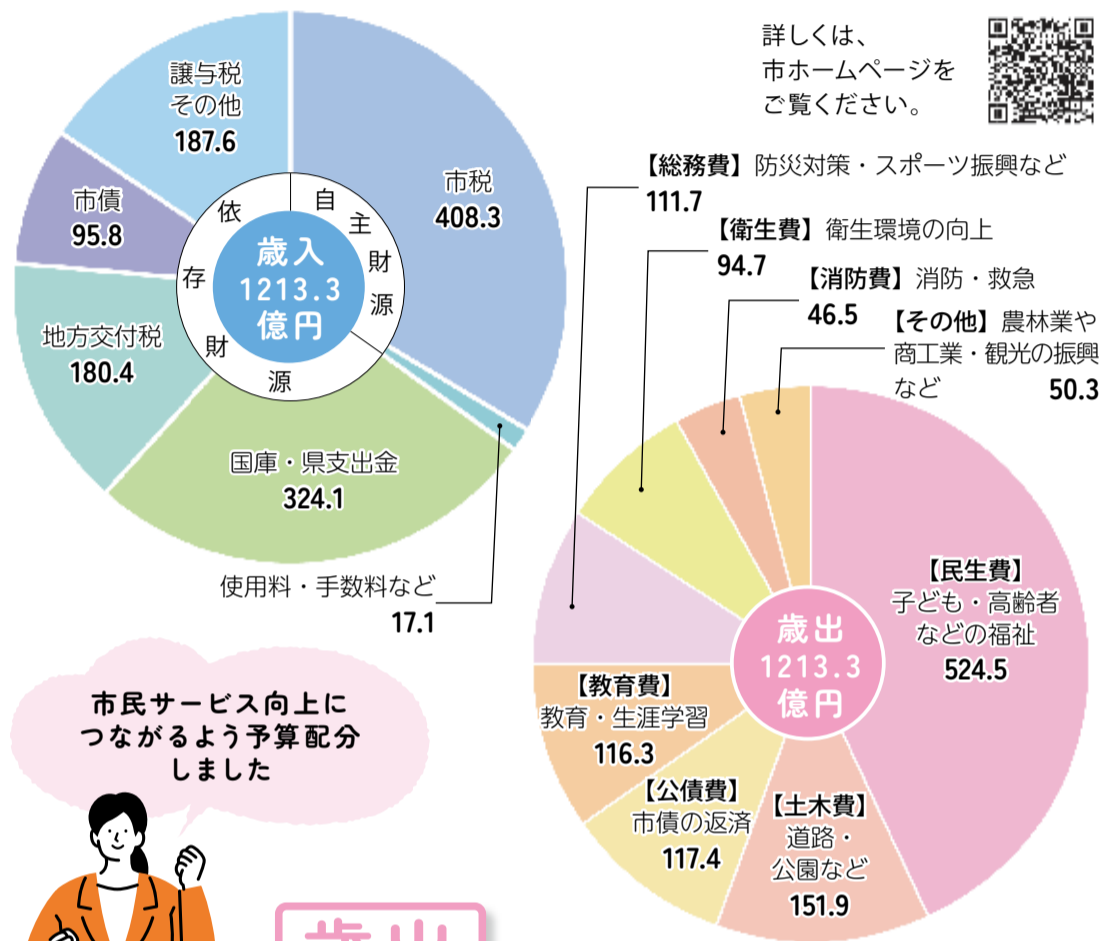
盛岡市長 内館 茂

一般会計

1213億
3000万円

前年度比
0.4% ↓

令和6年度当初予算は、認定こども園等運営費給付事業を含む子ども・子育て支援事業、障がい者の自立支援事業などの社会保障関係費や、中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業などの総合計画事業、公共施設の長寿命化を図るための改修事業などの予算を計上しました。図書館大規模改修事業の終了や玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業の減などにより、総額では前年度当初予算と比較して、5億4000万円(0.4%)減の1213億3000万円となりました。令和4年度、5年度当初予算に次いで、本市では3番目に大きな予算規模となっています。



市民サービス向上につながるよう予算配分しました



歳入

- 市税** 前年度比…16億1918万円減 **3.7% ↓**
震災復興に伴う個人住民税均等割への上乗せの終了や、定額減税による個人市民税の減額が見込まれることなどから減額
- 国庫・県支出金** 前年度比…3億741万円増 **1.0% ↑**
【国庫支出金】児童手当負担金や市街地再開発事業費交付金の増などにより増額
【県支出金】地域密着サービス施設等整備事業補助金の減などにより減額
- 地方交付税** 前年度比…19億797万円増 **11.8% ↑**
令和5年度の決算見込額を基に、国の地方財政計画の伸び率、市税や各種交付金、譲与税などの状況を勘案して増額

財政の健全性確保

- 【市債(借金)】**
本年度末の一般会計における市債(借金)の残高は、前年度比14億1729万円減の、1378億5785万円の見込みとなりました。
- 【基金(貯金)】**
市の貯金である基金は、公共施設等整備基金から7億6488万円、財政調整基金から22億7212万円を取り崩すこととし、残額は117億2613万円の見込みとなりました。
今後も、災害などの不測の事態に対応できるよう、適正な基金規模を維持しながら、効果的に活用していきます。

歳出

- 民生費** 前年度比…11億449万円増 **2.2% ↑**
児童手当支給事業、認定こども園等運営費給付事業の増など
- 土木費** 前年度比…6億3872万円減 **4.0% ↓**
太田地区土地区画整理事業、道明地区土地区画整理事業の減など
- 教育費** 前年度比…2億8678万円増 **2.5% ↑**
小中学校の校舎安全対策改修事業の増など
- 総務費** 前年度比…6億6794万円増 **6.4% ↑**
退職手当、指定管理料の増など
- 衛生費** 前年度比…9億1997万円減 **8.9% ↓**
旧清掃工場施設解体事業、感染症予防事業の減など

特別会計(9会計)

584億
1914万円

前年度比
0.4% ↑

特定の収入や支出を一般会計と切り離してまとめているんだね。



国民健康保険費や介護保険費など、特別会計9会計の合計では、前年度当初予算と比較して、2億3891万円(0.4%)増の584億1914万円となりました。
※公設浄化槽事業費特別会計および農業集落排水事業費特別会計は、公営企業会計への移行に伴い、令和5年度で廃止

『より優しく より強い盛岡』の実現に向けた施策

『より優しい盛岡』の実現に向けて

- 子どもにやさしく、子育てしやすい施策の充実**
- 新規** ●いじめなどの子どもが抱えるさまざまな問題の解消に向けて、相談窓口「こども相談室」を設置…………… 1596万円
- 拡充** ●保育士がより保育に集中できる体制の強化…………… 2760万円
- 多くの小学校区において「こども食堂」を運営できるように、補助団体数を拡大…………… 1500万円

学校・教育環境の整備を推進

- 新規** ●教育現場のデジタル化推進による教職員の事務負担軽減…………… 3429万円
- 新たな給食センターの整備に要する費用や用地などの調査…………… 1000万円
- 拡充** ●小・中学校のエアコン設置を「特別教室」へ拡大…………… 9189万円

全世代が住みよい環境整備の促進

- 新規** ●アクティブシニア*1の社会参加促進のため、高齢者の活躍の場を創出する就労活動支援コーディネーター配置…………… 327万円
- 新しい地域公共交通の実現に向けたデマンド交通*2などのニーズ調査…………… 150万円
- 拡充** ●道路除排雪車両の更新…………… 9477万円
- 「地区活動センター」や「老人福祉センター」へのエアコン設置…………… 1567万円

新しい取り組みも進めていきます



『より強い』地元経済が元気なまちへ

- 新規** ●新たな工業用地を確保するための適地および誘致企業のニーズ調査…………… 1400万円
- 地域企業の生産性向上などの実現に向け、民間投資による支援拠点となる施設整備の可能性調査…………… 1300万円
- 拡充** ●盛岡南地区物流拠点整備に係る道路および排水管路の各種設計など…………… 1億239万円
- クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した起業家支援など…………… 618万円
- IT起業家育成短期集中型プログラミング講座の実施…………… 430万円

盛岡の魅力を発信し、交流人口を増加

- 拡充** ●移住希望者へのおためし移住体験の実施、移住支援金の増額、U・Iターン促進の支援など…………… 6590万円
- 「つなぎでつなぐ盛岡さんざ」や「街なかさんざ」の実施、観光案内所の設置、国内外での各種PRの実施など…………… 3387万円
- 花蓮市友好都市提携5周年記念事業(山車パレード・盛岡りんごPRなど)…………… 1933万円

市の持つ資源や自然環境に配慮した施策の充実

- 新規** ●森林環境譲与税を活用し、市内の森林などを活用する取り組みを行うベンチャー企業などへ補助…………… 1546万円
- 農業用機械や施設などの更新、導入、修繕に要する経費に対する市独自の補助…………… 400万円
- 脱炭素社会の実現に向け、環境性能に優れた電気自動車の購入補助…………… 300万円
- 既存の住宅、建築物の省エネ診断や省エネ改修への補助…………… 188万円
- 公用車2台を電気自動車に更新…………… 128万円

※紫色の下線の項目は、重点的に取り組む施策(戦略プロジェクト)です

重点的に取り組む施策

総合計画の目指す将来像の実現に向け、3年間を目標に優先して取り組む「戦略プロジェクト」に、重点的に予算を配分しました。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



1 未来のもりおかを創る 若者・しごと応援プロジェクト

若者・女性の地元定着と活躍により持続可能で活力のあるまちづくりを推進するための戦略プロジェクト

2 回復から成長へ! まちなか交流・にぎわいプロジェクト

多くの人が行き交いコロナ前よりもにぎわいと活気に溢れるまちになるための戦略プロジェクト

公共施設保有最適化・長寿命化計画事業 51億7744万円

市は、小学校や市営住宅などの施設の「最適化」と「長寿命化」に取り組んでおり、本年度は次のような大規模改修などを予定しています。

- 校舎安全対策改修事業(小学校・中学校)…………… 21億5216万円
- 見前小学校屋内運動場長寿命化改修事業…………… 3億8686万円
- 北陵中学校校舎長寿命化改修事業…………… 5億4029万円

将来世代の負担を減らすことを目指しているのね



使ってみませんか？ 行政サービスの オンライン手続き



市では、子育てや介護関係を中心に行政手続きのオンライン化を進めています。オンライン化により便利になっていく行政サービスについて、その一例を紹介します。
【問】情報企画課 ☎626-7514
【広報ID】1042662

こんなお悩み、オンライン手続きで解決！

市役所に行く時間がない…
待ち時間がもったいない…
休日に手続きできない…



オンライン手続きだと



来庁
不要

待ち時間
なし

24時間
対応

市のオンライン手続きは、政府が運営するオンラインサービスであるマイナポータル（ぴったりサービス）や岩手県電子申請システムなどを利用しています。オンライン化に

対応する手続きの拡充など、行政手続きのオンライン化の詳細は市ホームページでもお知らせしていきます。

行政手続きのオンライン化の詳細はこちら▶



例えば、こんなシーンで利用できます！

子育て（マイナポータル）

- 保育施設の入園申し込み
- 児童手当などの新規認定請求
- 児童手当などの現況届



国民健康保険（マイナポータル）

- 加入の手続き
- 脱退の手続き
- 人間ドック費用の助成



介護（マイナポータル）

- 介護保険負担割合証の再交付申請
- 介護保険負担限度額認定申請
- 高額介護（予防）サービス費支給申請



その他

マイナポータル

紹介事例以外にも手続きできるサービスがあります。詳しくは、マイナポータルのホームページをご覧ください。



岩手県電子申請システム

大規模な修繕をしたマンションの固定資産税の減額申告など、個人や法人が利用できます。



よくある質問

- Q. 手数料はかかるの？
A. 無料で利用できます。
- Q. スマホ以外に必要なものはあるの？
A. 手続きの内容によっては、マイナンバーカードが必要になる場合があります。
- Q. スマホがない場合は？
A. パソコン（ICカードリーダーを含む）でも利用できます。

市役所に行かなくても
色々な手続きができる
んだ！
早速使ってみよう！



地域住民の気持ちに寄り添って支える 市民後見人になりませんか

成年後見制度は、認知症や障がいなどにより認知機能や判断能力が十分でない人を支援するための制度です。専門職の後見人だけでなく一般の市民が「市民後見人」として、本人の財産や権利を守るために活動するケースが増えており、注目を集めています。
【問】長寿社会課 ☎601-2063 【広報ID】1006415

市民後見人とは？

認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な人の権利や生活を守るために、本人に代わり財産の管理や契約手続きなどを行うことができる人です。

市が主催する市民後見人養成講座を受講し、修了後に市の市民後見人候補者名簿に登録された人で、家庭裁判所から選任されると「市民後見人」として活動を始めることになります。

同じ地域で生活する住民が市民後見人として活動すること

で、より本人の意向や気持ちに寄り添い、地域の实情に合わせた支援を行うことが期待されています。

盛岡市では、60人が市民後見人候補者名簿に登録されており、これまで延べ25人が市民後見人として選任されています。*市民後見人候補者が増えることで、より本人に合わせた支援ができる市民後見人の選任につながります。

※令和6年3月末時点

市民後見人の活動事例

事例1：Aさん「熱心な調査で年金問題を解決」



親が成年後見制度を利用したことがきっかけで後見活動に関心を持つようになりました。市民後見人養成講座を受講し、令和3年6月から、社会福祉士と2人で後見活動を始めました。

私が受任した被後見人は無年金でしたが、財産状況を調査する中で受給資格があるのではないかと、図書館で制度について勉強しながら、年金事務所とやり取りしました。その後、本人に年金受給資格があることを確認し、本来受給できるはずだった分も含めて受け取れることになりました。苦労もありましたが、非常にやりがいを感じた出来事です。

本人がやりたくてもできないことのサポートができると、市民後見人として活動して良かったと感じます。

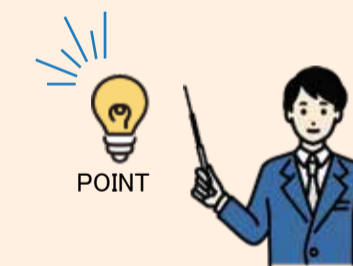
事例2：Bさん「二人三脚の後見活動」



新聞記事で市民後見人の存在を知って興味を持ち、養成講座を受講しました。福祉に携わった経験がなく、受任の打診があった時は不安もありましたが、まずは1回やってみないと分からないと思い、令和3年5月に市民後見人として、社会福祉士と2人で後見活動を始めました。

最初は被後見人との意思疎通に難しさを感じていましたが、2人で活動していたため一緒に入居施設訪問や書類の作成など、相談しながら安心して活動できました。

令和5年11月からは1人で活動しています。社会福祉士からの「一人で抱え込まないように」とのアドバイスを胸に、関係機関のサポートも受けながら、被後見人のために一生懸命活動しています。



POINT
最初は弁護士、司法書士、社会福祉士といった専門職と一緒に行動するため、安心して活動することができます。被後見人の生活が安定した場合は、市民後見人の単独後見に移行する場合があります。

成年後見制度を支援する「盛岡広域成年後見センター」

盛岡広域成年後見センターでは、制度の利用を必要としている人が、適切に利用できるように支援します。

「成年後見制度について知りたい」「成年後見制度を利用するための具体的な手続きについて聞きたい」「市民後見人として活動してみたい」など、成年後見制度に関する相談・お問い合わせは、同センターまでご連絡ください。

盛岡広域成年後見センター

☎020-0022 大通一丁目1-16岩手教育会館2階
☎626-6112 ファクス656-0612
窓口開設時間：平日8時半～17時半※窓口での相談は要予約

市民後見人養成講座

同センターでは、市民後見人を養成するための講座を開催します。市民後見人としての活動に興味のある人はぜひお申し込みください。

【講座日程】7月11日（休）～9月27日（休）、全9回

【申込方法】市役所本庁舎5階の長寿社会課や各支所などに備え付け、または市ホームページからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、☎020-0022大通一丁目1-16岩手教育会館2階盛岡広域成年後見センターへ郵送またはファクス、持参。6月12日（休）必着。持参は同日17時まで

【広報ID】1020216



開館20周年 遺跡の学び館の歩み

盛岡には、縄文時代をはじめとする数多くの遺跡があります。遺跡の学び館は、市内各地の遺跡の発掘調査を行い、その成果をもとに行う展示会、講座、体験学習会を通して、盛

岡の遺跡や歴史、文化に触れることができる博物館施設です。平成16年6月1日に開館し、今年で20周年を迎えました。

【問】遺跡の学び館 ☎635-6600



遺跡の学び館 外観

盛岡の遺跡発掘調査

盛岡には789箇所もの遺跡があります。遺跡の学び館では多くの遺跡の発掘調査をし、貴重な出土品の発掘などさまざまな成果を上げてきました。

【調査した主な遺跡】

| 旧石器時代 | 縄文時代 | 弥生・古墳時代 | 古代 | 近世 |
|-----------------------|--------------------------------------|--|---|-----------|
| ●小石川遺跡(藪川) 写真①：尖頭器 | ●繫V遺跡(繫) 写真②：深鉢形土器 ●大館町遺跡(大館町) | ●柿ノ木平遺跡(浅岸) ●川目C遺跡(川目) ●手代森遺跡(手代森) | ●薬師社脇遺跡(浅岸) 写真③：小型壺・小型鉢 ●太田蝦夷森古墳群(上太田) ●上田蝦夷森古墳群(黒石野) ●志波城跡(下太田) ●台太郎遺跡(向中野) | ●盛岡城跡(内丸) |



①尖頭器



②深鉢形土器(国指定重要文化財)



③小型壺・小型鉢



④衝角付甗(県指定文化財)

写真④：衝角付甗

調査員の現場の声

遺跡の学び館の20年の歩みの中で、調査員が特に印象に残っている発掘調査について紹介します。

繫V遺跡(縄文時代中期)(繫) 【平成21年度】

神原文化財副主幹：竪穴住居跡の床を観察していたときです。直径2㍍程の小さな穴があるのに気づき、慎重に調査を進めていきました。掘り進めて姿を現したのは見事な完形の深鉢形土器(伏甗)だったので。数千年もの時を経て、現代に再び姿を現した瞬間でした。



発掘現場(中央：神原文化財副主幹)



出土した伏甗

細谷地遺跡(奈良・平安時代)(向中野) 【平成25年度】

鈴木文化財主任：平安時代の竪穴建物跡から多くの土器と共にバラバラの状態出土した土器は、復元していくと非常にユニークな形の土器になりました。多嘴瓶という土器で、仏具と考えられますが、出土例が少なく詳しい用途は分かっていません。



発掘現場



出土状況



復元された多嘴瓶

盛岡城跡(江戸時代)(内丸) 【令和3年度～継続中】

今松文化財調査員：約300年ぶりの三ノ丸北面石垣の修復工事は、石工達が匠の技で解体と積み上げをしており、平均1トンの石材をバールで動かし、調整する姿は圧巻です。盛岡城自慢の石垣を後世に残せるよう、調査・記録に取り組んでいます。



史跡巡り・解説(中央：今松調査員)



石材をバールで調整する様子

多彩な展示や講座・体験学習

遺跡の学び館では、これまでに調査した市内の遺跡や出土資料などを時代ごとに紹介するほか、昔の住居や暮らしの様子の復元、発掘現場の再現など、さまざまな展示をしています。

また、年に3回の展示会や、詳しい解説を聞くことができる特別講演会や学芸講座、古代のものづくりを学ぶ体験学習を開催しています。



遺跡について楽しく学べるよ！



展示会の様子

当たり前に住んでいた場所から、たくさんの土器が出てきたことに驚きました★

土器の作り方とか、文様のつけ方が分かりました。またやってみたいです★



縄文土器づくり



土偶マグネット

いろんな文様が描けて楽しかった。親子で楽しめました★

★参加者の声

20周年記念イベントのお知らせ

▶無料開放：6月1日(日)は開館記念日として施設を無料開放します

▶ポスター展示：6月から12月まで、エントランスホールにて開館当初からこれまで開催した企画展のポスターを展示します

▶年間パスポート：開館記念月間として、6月中に来館した人に年間パスポート(来年3月30日(日)まで有効の無料入館券)を贈呈します※団体利用を除く



遺跡の学び館の最新情報などについては、市ホームページをご覧ください



今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

一気に暖かくなって外に出かけるのが楽しい季節になりました。街なかを散策しながら、私の好きな盛岡を再発見してみたいと思います。(真田)

地球環境に配慮したインキを使用しています。